

臨床研究

「Koch の三角周辺の電氣的興奮伝導様式と房室結節リエントリー性頻拍の成功通電部位との関連についての解析」について

筑波大学附属病院循環器内科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究に関する問い合わせ、または研究への参加を希望しない場合は、担当者までご連絡をお願いいたします。

本研究の概要は以下のとおりです。

1. 研究の目的

心臓は電氣的興奮の伝播により収縮し、血液を全身に送る臓器です。その電氣的興奮伝播様式の中でも、心房から心室に電氣的興奮を伝える房室結節での電氣的興奮伝導様式はまだはっきりわかっていません。

一方で脈が異常になる不整脈の検査・治療法は近年目覚ましい発展を遂げており循環器治療の中で確立された標準化した検査・治療手段となっています。

その検査時に使用する器具に心臓内の興奮伝播を 3D で可視化できる 3D マッピングシステムというものがあり、それにより房室結節の電氣的伝導を観察することにより、その特徴が判明する可能性があります。

また、それにより、同部位が原因となる房室結節リエントリー性頻拍の治療成績の改善する可能性があります。

2. 研究対象者

不整脈を有する患者さんで、2020 年 4 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日に当院で 3D マッピングシステムを用いてカテーテル検査、および治療を受けた患者さんが対象となります。

3. 研究期間：倫理審査委員会承認後から、2023 年 3 月 31 日まで

4. 研究方法

対象の患者情報を評価するレジストリー研究であり、診療録に基づいて、患者さんのご病状、検査・治療内容、合併症の有無、予後などの情報について収集・解析が行われます。この調査に参加していただくことで、患者さんに負担いただくことは、基本的にはございません。

データの提供は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で電子的配信によって行います。対応表は、本学の研究責任者が保管・管理します。

5. 試料・情報の項目

過去の診療記録から下記の項目を調査します。

個人情報適切に取り扱わせて頂きます。

診断名、年齢、性別、身体所見、検査所見（血液・尿検査、画像検査、心電図、心エコー検査など）、投薬、治療内容、治療経過。

6. 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学 循環器内科 教授 家田 真樹

7. 研究機関名および研究責任者名

筑波大学 循環器内科 教授 家田 真樹

8. 本研究への参加を希望なされない場合

患者さんやご家族が本研究への参加を希望なされない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。ただし、既に研究結果が公表済である場合など、ご希望に添えない場合があることをご了承ください。

9. 利益相反について

利益相反とは、外部との経済的な利益関係（資金提供など）によって、研究データの改ざん、特定企業の優遇など研究が公正かつ適切に行われていないのではないか（企業に有利な結果しか公表されないのではないか）と第三者から懸念されかねない事態のことをいいます。この研究は、特定の企業や団体から研究資金や給与・謝金など、特別な便宜を受けている利益相反のある者がおりますが、これらは全て筑波大学臨床研究利益相反審査委員会に報告しており、データ解析、編集に関しては一切、関与せず、研究を公正に遂行し、対象となる方に不利益になることや、研究結果を歪めることは一切いたしません。

10. 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院 循環器内科

住所：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：循環器内科 担当 市原 登

電話：029-853-3143（循環器内科医局，平日 9 時～17 時にご連絡ください）